

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 大
 コード番号 3600 URL http://WWW.fjx.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)山本 和良 (TEL)075(463)8111
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,687	△2.3	13	△51.6	41	△36.2	18	△76.1
24年3月期第3四半期	4,796	6.5	27	35.5	64	△1.5	77	△61.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 98百万円(△0.2%) 24年3月期第3四半期 98百万円(66.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年3月期第3四半期	円 銭 2 69	円 銭 —
24年3月期第3四半期	11 25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年3月期第3四半期	百万円 10,021	百万円 8,364	% 79.5
24年3月期	9,952	8,359	80.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 7,963百万円 24年3月期 8,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 —	円 銭 12 50	円 銭 12 50
25年3月期	—	0 00	—		
25年3月期(予想)				12 50	12 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,288	△0.1	52	—	61	303.7	51	—	7 54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名)一、除外 一社(社名)一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	7,340,465株	24年3月期	7,340,465株
25年3月期3Q	449,136株	24年3月期	448,077株
25年3月期3Q	6,891,822株	24年3月期3Q	6,893,473株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報等	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き東日本大震災の復興需要を背景とした回復の動きも見られるものの、欧州を始めとする海外景気や日中関係の先行き懸念が払しょくされず、全体として不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く環境も、国内では依然消費者の節約志向が根強く、デフレ傾向が続いていることに加え、中国の縫製業が新興アジア諸国に分散する傾向も進みつつあることから、総じて厳しい状況が続きました。

当社グループは、連結子会社を含め、引き続き中長期を見据えた諸課題に取り組んでおり、一部にはその成果も現れつつありますが、特に工業用縫い糸分野の不調が響き、当第3四半期連結累計期間の売上高は、4,687百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

一方、利益面につきましては、平成20年末に実施の国内工場の移転統合により増加した償却費負担の軽減や国内販管費の減少など、増益要因もあるものの、国内を中心とした売上高の回復遅れや国内での本社修繕工事の実施、アジア事業での減益要因もあって、営業利益は13百万円(前年同期比51.6%減)、経常利益は41百万円(前年同期比36.2%減)となりました。

また、主に中国生産子会社の移転に伴い、当第3四半期連結累計期間中の特別損益において減益要因が増加したことにより、中国子会社の税額並びに少数株主利益が減少し、四半期純利益は18百万円(前年同期比76.1%減)となりました。

なお、特別利益に計上した受取補償金125百万円につきましては、平成24年11月9日に発表した「業績予想の修正及び特別利益の発生に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの業績は次のとおりです。

日本

上述のとおり、国内では先行きの不透明感から消費者の節約志向が根強く、衣料品の売れ行きは全般にまだら模様であり、デフレ傾向が続くとともにその生産は慎重で、特に国内の縫製業は厳しい状況が続きました。また手芸など手作りホビーの分野においても秋口以降も全般に回復傾向が見られません。

当社グループは、国内での需要の掘り起こしやシェアの拡大、海外向け販売の拡大など、中長期の課題に地道に取り組んでおり、家庭用縫い糸分野におけるシェアの拡大など、その成果も一部現れつつありますが、ウェイトの大きい工業用縫い糸の低迷が響き、当セグメントの売上高は、3,801百万円(前年同期比2.5%減)となりました。

また利益面は、国内工場の移転に伴う償却費負担の減少や人件費を含む経費の減少など、増益要因もありますが、国内縫製市場の低迷により、先行経費負担に対して売上高の回復が遅れていることから、セグメント損失は107百万円(前年同期は115百万円の損失)となりました。

なお、当社グループにおいては、事業年度の末日を 当社は3月末日、国内子会社は1月末日と定めており、当第3四半期連結累計期間には、当社の平成24年4月から12月まで、国内子会社の平成24年2月から10月までの業績が連結されております。

アジア

当社グループの海外連結子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第3四半期連結累計期間には各海外子会社の平成24年1月から9月までの業績が連結されております。

当社グループのアジア事業の核となっている中国においては、昨今の急速な賃金上昇や雇用環境の変化などにより、特に労働集約型産業である縫製業においては、賃金が安価で縫製人員の確保し易い新興アジア諸国へのシフトが進みつつあり、特に低価格や量産型衣料品の生産を中心に中国からの分散化傾向が強まっております。これに伴い、同国の縫製業は厳しさを増しつつあり、中国連結子会社における縫い糸受注も小口化が進むとともに競争も激化する傾向にあります。当社グループでは、きめ細かなサービスや信頼される品質を掲げた販売努力を続けておりますが、当セグメントの売上高は、885百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

また利益面は、人件費などの経費が増加していることや、平成24年5月に設立が認可されたベトナム・ホーチミンの販売子会社における先行経費負担などもあり、セグメント利益は106百万円（前年同期比35.1%減）となりました。

なお、平成23年にタイ国・サハグループとの合弁で設立した販売子会社 フジックス・インターナショナルは、持分法適用会社であり、同社の純損益のうち当社持分相当額は営業外費用の持分法による投資損失として計上されているため、当セグメントの売上高およびセグメント利益に影響はありません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて68百万円増加し、10,021百万円となりました。主な増減は、流動資産では、現金及び預金の減少147百万円、たな卸資産の増加70百万円、固定資産では、有形固定資産の増加111百万円、投資その他の資産合計の増加45百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて63百万円増加し、1,656百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加48百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4百万円増加し、8,364百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の減少72百万円、その他有価証券評価差額金の増加30百万円、少数株主持分の増加53百万円などがありました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期連結業績につきましては、平成24年11月9日に「業績予想の修正」として開示した数値に変更はありませんが、国内では景気回復への期待感が見られるものの、海外景気の先行きや、当社グループの中国事業に影響を及ぼす日中関係の先行きは未だ不透明であり、同予想に大幅な差異が生じる見通しとなった場合には、早期に開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,346千円増加しております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,825,455	2,678,112
受取手形及び売掛金	1,498,350	1,487,045
たな卸資産	2,688,850	2,759,321
その他	105,197	91,228
貸倒引当金	△27,900	△8,054
流動資産合計	7,089,953	7,007,653
固定資産		
有形固定資産	1,361,272	1,472,912
無形固定資産		
その他	196,395	190,722
無形固定資産合計	196,395	190,722
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,308,806	1,355,143
貸倒引当金	△3,821	△4,991
投資その他の資産合計	1,304,985	1,350,152
固定資産合計	2,862,652	3,013,787
資産合計	9,952,605	10,021,440
負債の部		
流動負債		
買掛金	526,448	574,805
未払法人税等	42,964	37,778
賞与引当金	69,434	28,883
移転損失引当金	12,084	83,373
その他	297,024	308,060
流動負債合計	947,955	1,032,901
固定負債		
長期借入金	52,528	36,720
退職給付引当金	75,592	81,175
役員退職慰労引当金	166,078	169,592
移転損失引当金	83,986	—
資産除去債務	16,929	16,952
その他	249,702	319,367
固定負債合計	644,816	623,807
負債合計	1,592,772	1,656,709

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	758,014
利益剰余金	6,399,123	6,326,752
自己株式	△106,042	△106,340
株主資本合計	7,974,420	7,901,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125,201	155,982
為替換算調整勘定	△87,298	△94,263
その他の包括利益累計額合計	37,903	61,718
少数株主持分	347,509	401,261
純資産合計	8,359,833	8,364,731
負債純資産合計	9,952,605	10,021,440

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	4,796,070	4,687,021
売上原価	3,408,548	3,316,345
売上総利益	1,387,521	1,370,675
販売費及び一般管理費	1,360,242	1,357,474
営業利益	27,278	13,201
営業外収益		
受取利息	5,087	4,151
受取配当金	16,687	16,403
その他	29,497	33,286
営業外収益合計	51,272	53,841
営業外費用		
支払利息	1,470	3,011
為替差損	1,226	7,387
有価証券評価損	5,025	—
持分法による投資損失	817	12,244
その他	5,148	2,991
営業外費用合計	13,687	25,634
経常利益	64,862	41,407
特別利益		
固定資産売却益	626	—
受取補償金	247,000	125,400
資産除去債務戻入額	98,338	—
特別利益合計	345,964	125,400
特別損失		
移転損失	84,122	8,070
その他	2,689	546
特別損失合計	86,812	8,616
税金等調整前四半期純利益	324,014	158,191
法人税、住民税及び事業税	140,122	29,929
法人税等調整額	12,749	52,136
法人税等合計	152,871	82,065
少数株主損益調整前四半期純利益	171,142	76,125
少数株主利益	93,605	57,586
四半期純利益	77,537	18,539

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	171,142	76,125
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,788	30,780
為替換算調整勘定	△36,487	△9,011
持分法適用会社に対する持分相当額	—	786
その他の包括利益合計	△72,276	22,555
四半期包括利益	98,866	98,681
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,029	42,354
少数株主に係る四半期包括利益	84,837	56,326

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,897,925	898,144	4,796,070	—	4,796,070
セグメント間の内部 売上高又は振替高	288,873	378,992	667,866	△667,866	—
計	4,186,798	1,277,137	5,463,936	△667,866	4,796,070
セグメント利益又は損失 (△)	△115,471	163,921	48,450	△21,172	27,278

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△21,172千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,801,994	885,026	4,687,021	—	4,687,021
セグメント間の内部 売上高又は振替高	278,773	393,390	672,164	△672,164	—
計	4,080,768	1,278,417	5,359,185	△672,164	4,687,021
セグメント利益又は損失 (△)	△107,571	106,394	△1,177	14,378	13,201

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額14,378千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、新たにベトナムに連結子会社を設立したことに伴い、当社グループの生産・販売体制を基礎とした地域別の報告セグメントの区分方法を見直し、従来の「日本」「中国」から「日本」「アジア」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第3四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。